

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	平塚市民病院	階数	地上6階地下1階
建設地	平塚市南原1-19-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第一種住居地域	平均居住人員	410 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2016年5月10日
敷地面積	18,344 m ²	作成者	(株) NTTファシリティーズ
建築面積	3,516 m ²	確認日	2016年5月10日
延床面積	18,527 m ²	確認者	(株) NTTファシリティーズ



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.0 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 ①患者と医療従事者の双方にとって効率的な医療や快適さを実現し、周辺環境とも調和した療養環境を提供する建築計画 ②医療をめぐる環境の変化やニーズの多様化に対しフレキシブルに対応可能で、大地震にも病院機能を維持できる安全性の高い災害医療拠点病院としての建築計画 ③ライフサイクルコスト低減と環境負荷低減の両立を目指す施設整備		その他 0
Q1 室内環境 化学汚染物質対策、換気、空調設備など快適な室内環境の形成に努めた。	Q2 サービス性能 階高のゆとり、免震構造による十分な耐久性、通信手段の多様化などに特に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 周辺の町並みに対して違和感のないよう配慮するとともに緑地やオープンスペースの形成など建物利用者や周辺の方々の憩いの場となるように計画している。
LR1 エネルギー トップライトによる採光や吹抜けを利用したナイトパーキングなどの自然換気を行い、自然エネルギーの直接利用を図るほか、low-eガラスの採用、庇設置など建物の熱負荷を低減する計画としている。	LR2 資源・マテリアル エコマーク商品や有害物質を含まない材料の選定を積極的に行う。	LR3 敷地外環境 敷地内および周辺に十分な駐車、駐輪場を設置し、周辺への影響を最小限にとどめるよう努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された